

「量が多く、漢字が難しく一人では読めない。ふりがながついて、コンパクトであるとよい。」であった。また、過去にわかっている困難事例の紹介、本人と一緒に書きこむチェックシートが希望された。

## (2) 配布先からの評価

展示およびシンポジウム会場で配布した評価用紙のうち返信は5通であった。

## (3) ホームページからのダウンロード数と評価

平成26年12月11日に所沢版発達障害編を、平成27年4月9日に全国版一般編を公開した。所沢版発達障害編の平成27年3月30日までのダウンロード数は83件、1日の最大ダウンロード数は15件であった。同時に約20種の障害者の防災に関する資料を公開した中では、最もダウンロード数が多かった。ホームページからの公開に対する評価用紙の返信はなかった。

## D. 結論

・ 一人で公共交通機関を使う発達障害青年を読者に想定した災害時の行動準備マニュアルを作成した。内容、表現、レイアウト、フォント、文字色、改行幅に配慮して編集し、親からは肯定的な評価を得た。

・ 障害の告知を得ていない発達障害者に配布するために「発達障害」の文言のない冊子も作成したが、本人による活用機会の確保は今後の課題である。

・ 評価アンケートの回収率は悪く、子どもと一緒に書きこむ形式の希望が出され、教習プログラムの開発と実施の必要性が示唆された。

・ インターネットによる配布も一定数が確認された。

## E. 文献

1. 石井和久,天野和彦. 視覚障害学生の読みやすい文字について. 筑波技術大学テクノレポート. 17(1): 6-10, 2009.
2. 熊谷晋一. 障害の不安定性と意思決定の困難 —発達障害と慢性疼痛の当事者研究を手がかりに—. 社会的障害の経済理論・実証研究 (REASE) 第1回研究会. 2012-10-13. 東京.

## F. 発表

1. 北村弥生. 発達障害児・者を対象にした防災教材の開発. 日本発達障害学. 仙台. 2014-08.
2. 東京
3. 仙台
4. 東京

## 別紙 4

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
なし							

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
北村弥生・本多康生・我津賢之・小佐々典靖・海野耕太郎	東日本大震災の被災地における災害時要援護者支援— 宮城県南三陸町を中心とした調査結果	国リハ紀要	35号	19-28	2014
北村弥生・河村宏・我津賢之・小佐々典靖・八巻知香子	精神障害者による津波避難訓練の効果と地域住民との関係	国リハ紀要	35号	29-40	2014
北村弥生・広瀬秀行	脊髄損傷者に対する避難所における褥瘡予防プログラムの開発と評価：接触圧の観点から	国リハ紀要	36号	印刷中	
北村弥生、入部寛	政府関係機関文書における福祉避難所についての記載内容について ～障害者関係を中心に～	国リハ紀	36号	印刷中	

厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)

「障害者の防災対策とまちづくりに関する研究」

平成 26 年 総括・分担研究報告書

発行者 北村 弥生 (研究代表者：国立障害者リハビリテーションセンター)

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

